



2021年3月4日

各 位

会社名 株式会社シルバーライフ
代表者名 代表取締役社長 清水貴久
(コード番号：9262 東証第一部)
問合せ先 管理部次長兼経営企画課長 齋藤玲子
(TEL. 03-6300-5629)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年9月11日に公表いたしました2021年7月期第2四半期(累計期間)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年7月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2020年8月1日~2021年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,710	百万円 450	百万円 510	百万円 320	円 銭 29.90
今回修正予想(B)	4,888	611	671	417	39.04
増減額(B-A)	178	161	161	97	—
増減率(%)	3.8	35.8	31.6	30.3	—
(ご参考)前第2四半期実績 (2020年7月期第2四半期)	4,212	411	486	302	28.45

(注) 2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間は、売上高では昨年出店したFC加盟店が順調に売上を伸ばしていること等により、期初計画を上回りました。売上総利益では、新工場の稼働に約2か月の遅れが生じたことにより、期初予定していた先行費用の発生も遅れました。販売管理費では、工場製造限界に伴う冷凍弁当の直販の売上を抑えるために広告宣伝費及び販売促進費を抑制したこと等により、営業利益、経常利益及び四半期純利益が予想を上回る見込みです。

なお、通期業績予想につきましては、新工場の計画の遅れを取り戻し早期の安定稼働を実現するための費用発生等の可能性もあることから、2020年9月11日に公表いたしました2021年7月期業績予想は据え置くこととしました。今後の状況を踏まえ、修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上